

## 新型コロナウイルスの流行状況を察知するため

# PCR検査バスによる若年層へのモニタリング検査を実施

新型コロナウイルスの地域の流行状況を早期に察知するとともに、感染予防の普及啓発を行うことを目的として、杉並区内の駅前ロータリーにPCR検査バスが巡回し、20～30代を中心とした無症状の通行人に呼びかけて、モニタリング検査を実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、区内でも若年層の感染者数が多くなっていることから、地域に無症状の感染者がどの程度いるか把握し、流行状況を早期に察知するとともに、主に若年層への感染予防の普及啓発を行うことを目的としてモニタリング検査を実施しました。

不特定多数の人が多く行き交う杉並区内の駅前ロータリーに、陰圧装置や除菌システムを完備したPCR検査バスを配し、職員が若年層への通行人へ検査の協力を呼びかけました。PCR検査バス内で採取した検体は、当日のうちに区の直営の生活衛生課分室（旧杉並区衛生試験所）において、PCR検査判定を行い検査結果を翌日または2日後に、本人へ通知しました。

モニタリング検査を受けた20代の男性は、「感染予防には十分気をつけているつもりですが、機会があればPCR検査を受けてみたかった。無症状でも陽性の場合もあるそうで、知らず知らずのうちに周囲の人にうつしていないか心配でした。今回の検査で結果が分かれば、安心して仕事ができます。」と話をしていました。

4月下旬の5日間で213人にご協力いただきました。検査結果については、分析後に区ホームページで公表するとともに、今後の感染拡大防止に活用していきます。



### 【問い合わせ先】

杉並保健所健康推進課：03-3391-1355

総務部広報課：03-3312-2111（代表）